



重富小学校 学校便り 剣の平

令和7年度 5月号
創立137周年

(重富小HPアドレス)
<http://www12.synapse.ne.jp/sigetomisyo/>

学校
教育
目標

「剣の平」に誓う
光り輝く重富の子

学校
キャッチフレーズ

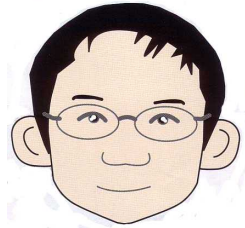
Well-beingな学校

魅力ある

裏山

校長 平 千力

私は、毎日、裏山に散歩に出かけます。毎日、見ていると、少しの変化にも気が付きます。「あれ、このほうき、昨日はここにあったのにな。誰かが片づけてくれたんだ。」「あっ、草がきれいに刈ってある。用務員さんが刈ってくれたんだ。ありがたい。」「つぼみだったのに、花が咲いたぞ。」「誰かが、タケノコを掘った後がある。でも、きれいに後始末もしている。」。。。。。



池にアカハライモリが最近少なくなっています。昨年、池の水が干上がったことがあり、きっとそれが原因だと私は思っています。アカハライモリは絶滅危惧種に指定されています。

そんな貴重な生き物も裏山には生息しています。しかし、最近、見なくなったのです。私は心配で、お友達のBさん、Aさんと三人で池にアカハライモリが居るか確認していると、居ました。居ました。よかった。。。そんなとき、Bさんが「あっ。へびだ。気付かなかった。」理科教諭である私は、実は、へびは大嫌い。奄美出身の私は、へび＝ハブと思ってしまい、見ているだけで怖くなるのです。しかし、平然を装い、「ほんとかだ・・・」とへびを遠くから見ていました。「カエルがいるからへびが食べに来るのですね」と知識だけは豊富な理科教諭。Bさんは、「頭が三角ではないから、毒へびではないですよ。そのうち、逃げていきます。それが自然というものです。」とさすがの答え。翌日、恐る恐る同じ場所へ行ってみると、へびは見当たりません。どこかへ行ったのでしょうか。裏山では、いろいろな生き物がいます。自然そのものです。

昼休み、たくさんの子供たちが裏山で遊んでします。でも、裏山には、遊び道具は何一つありません。子供たちをよく観察してみると、鬼ごっこ、かくれんぼ、生き物探し、茶摘み、梅ちぎり、タケノコ掘り、ひなたぼっこ。。。。自分たちで遊びを考え、楽しく遊んでいます。どの顔も笑顔、笑顔。。。でもたまに、「校長先生、転んで、足をすりむいちゃいました。」という子供も。「どこで転んだの?」「ここ。ここに段差があったのに走ったから。」「そうか、じゃあ次は、ここは気を付けてね。」「保健室で治療してきます。」ちょっとしたすり傷も、笑顔で保健室へ。。。。

放課後、重富少年野球クラブの部員が、裏山を元気に走っています。絶好の体力つくりのコース。坂道あり、下り坂あり、でこぼこあり。脚力を付けるにはもってこいです。

今年も、6年生が「裏山を何とかし隊」を結成し、学習を始めています。今年は、学習が待っているのでしょうか。私も、今から楽しみです。

便利な世の中です。欲しいものがすぐに手に入る世の中です。すぐ結果を求められる時代です。この重富小学校の裏山には、ゆっくりとした時間が流れています。そして、自然がいっぱいです。子供たちの心は、重富小学校の風土の中で醸成され、時間をかけて育まれると思っています。たくさんの体験とたくさんの時間のもつ意味を大事にしたいです。

